

## 第2章

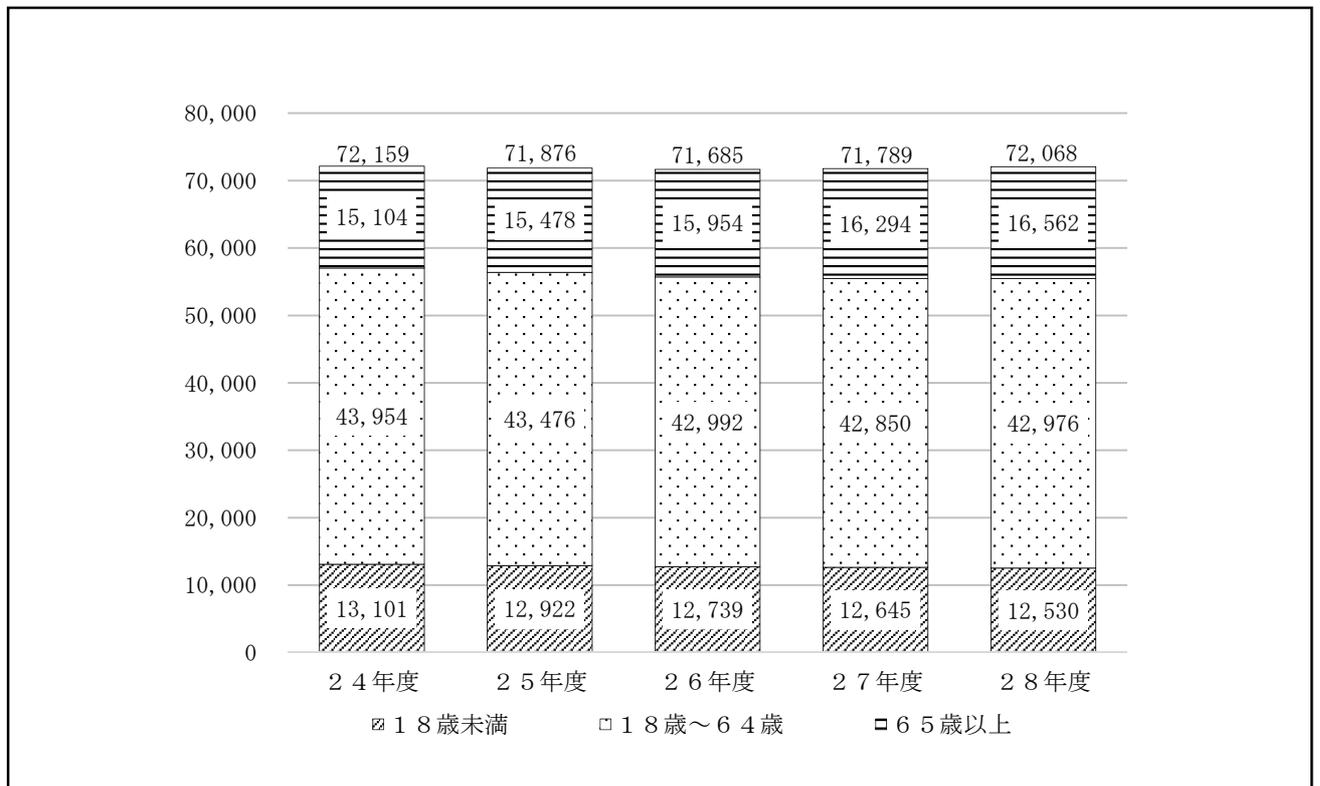
# 障害のある人を取り巻く現状

### 1 碧南市の状況

碧南市の人口は、平成28年度末現在で72,068人と横ばいとなっています。

#### 人口の推移

(単位：人)



各年度末現在

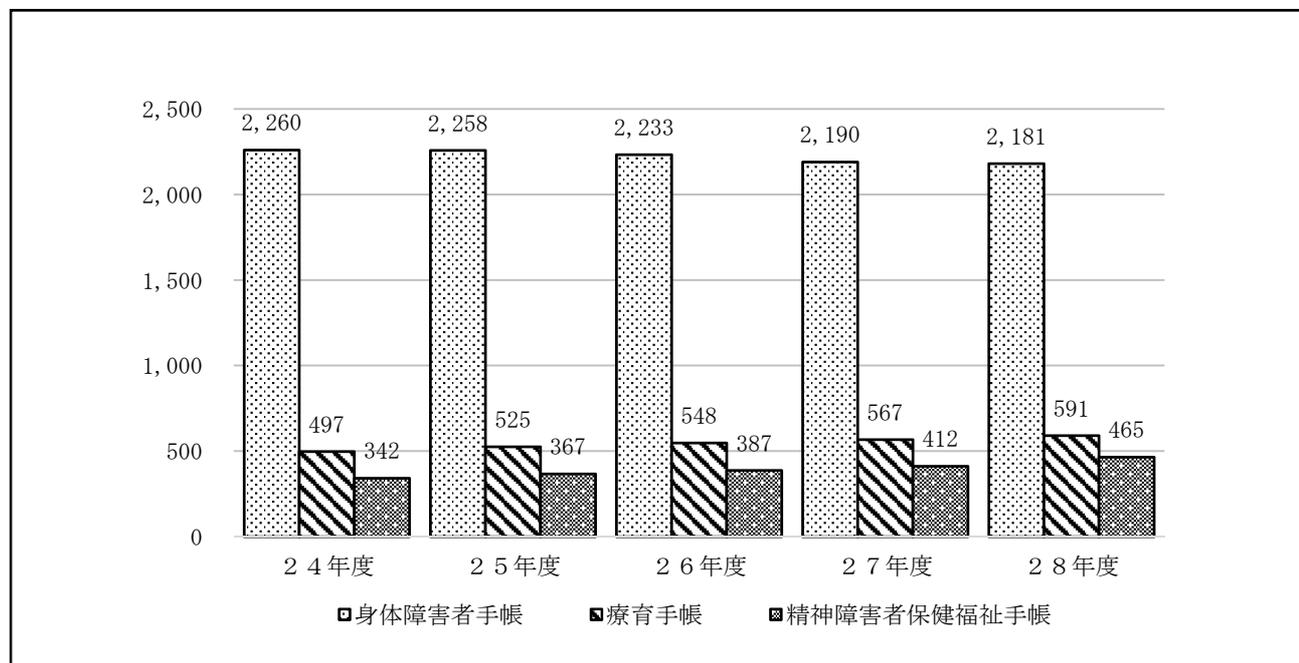
## 2 障害者の状況

### (1) 障害者手帳交付状況

平成28年度末現在の障害者手帳所持者数は3,237人で、前年に比べ68人の増加となり、手帳交付者数は増加傾向が続いています。障害手帳別で見ると、身体障害者手帳所持者数は年々減少していますが、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は年々増加しています。

#### 障害者手帳交付者数の推移

(単位：人)



各年度末現在

## (2) 身体障害者手帳交付状況

身体障害手帳交付者数は、年々減少しています。

平成28年度末現在の交付人数は2,181人で65歳以上が67.5%を占めており、年齢区分別にみると、いずれの区分も減少傾向となっています。

### 年齢別交付者数の推移

(単位：人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
18歳未満	51	50	48	47	48
18歳～64歳	708	701	673	666	660
65歳以上	1,501	1,507	1,512	1,477	1,473
計	2,260	2,258	2,233	2,190	2,181

各年度末現在

障害等級別身体障害者手帳交付者数は、計では年々減少していますが、最も重い1級は年々増加しています。その他の等級では減少又は横ばいの状況です。

### 障害等級別交付者数の推移

(単位：人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1級	609	613	629	641	655
2級	400	388	384	371	364
3級	551	537	513	501	482
4級	473	498	480	457	460
5級	142	139	144	137	134
6級	85	83	83	83	86
計	2,260	2,258	2,233	2,190	2,181

各年度末現在

部位別身体障害手帳交付者数は、平成28年度末現在の交付人数の内訳をみると、肢体不自由で1,193人と身体障害手帳交付者の54.7%を占めています。

#### 部位別交付者数の推移

(単位：人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
視覚	133	133	132	126	124
聴覚・平衡	144	141	137	138	144
音声・言語	24	23	22	21	19
肢体不自由	1,293	1,294	1,273	1,220	1,193
内部	666	667	669	685	701
計	2,260	2,258	2,233	2,190	2,181

各年度末現在

### (3) 療育手帳交付状況

療育手帳交付者数は、平成28年度末現在の交付人数は591人で、平成24年度末と比較すると1.19倍となっています。また、いずれの判定も増加しています。

#### 判定別、年齢別交付者数の推移

(単位：人)

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
A判定	18歳未満	40	42	42	40	41
	18歳～64歳	146	146	150	156	160
	65歳以上	13	12	14	15	15
	計	199	200	206	211	216
B判定	18歳未満	39	38	34	29	37
	18歳～64歳	93	96	100	107	108
	65歳以上	9	10	14	15	19
	計	141	144	148	151	164
C判定	18歳未満	83	91	99	102	103
	18歳～64歳	73	89	94	102	107
	65歳以上	1	1	1	1	1
	計	157	181	194	205	211
計	18歳未満	162	171	175	171	181
	18歳～64歳	312	331	344	365	375
	65歳以上	23	23	29	31	35
	計	497	525	548	567	591

各年度末現在

#### (4) 精神障害者保健福祉手帳交付状況

精神障害者保健福祉手帳交付者数は、平成24年度末の342人から平成28年度末には465人と5年間で1.36倍となっています。等級別では2級が大半を占めています。

##### 障害等級別交付者数の推移

(単位：人)

区分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1級	18歳未満	0	0	1	2	2
	18歳～64歳	19	20	21	23	30
	65歳以上	10	12	14	12	22
	計	29	32	36	37	54
2級	18歳未満	1	1	5	4	6
	18歳～64歳	185	201	213	231	242
	65歳以上	46	52	60	54	56
	計	232	254	278	289	304
3級	18歳未満	1	3	3	7	8
	18歳～64歳	73	72	61	70	90
	65歳以上	7	6	9	9	9
	計	81	81	73	86	107
計	18歳未満	2	4	9	13	16
	18歳～64歳	277	293	295	324	362
	65歳以上	63	70	83	75	87
	計	342	367	387	412	465

各年度末現在

### 3 障害福祉サービスの提供状況

#### (1) 訪問系サービス

訪問系サービスは、障害者等が在宅でより生活しやすくするためのサービスで、種類は以下のとおりです。

利用者数は、各年度ともに計画値より多くなっていますが、居宅介護においては、1月あたりの利用者数は横ばいですが、1月あたりの延べ時間は増加しています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ時間)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
訪問系サービス	人	82	87	82	95	83	91
	時間	2,750	2,956	2,770	2,724	2,790	2,660
居宅介護	人		79		86		83
	時間		2,064		2,276		2,284
重度訪問介護	人		2		1		1
	時間		850		405		334
同行援護	人		6		8		7
	時間		42		43		42
行動援護	人		0		0		0
	時間		0		0		0
重度障害者等包括支援	人		0		0		0
	時間		0		0		0

平成29年度は6月利用分各サービスの計画値は未設定

※居宅介護では、日常生活を営むことが困難で支援が必要な障害者等にホームヘルパーを派遣し、入浴や排泄、家事援助、その他日常生活上の介護等を行います。

※重度訪問介護では、常時介護を要する重度の肢体不自由者等に対して、入浴や排泄、家事援助、その他日常生活上の介護等を行うとともに、外出時における移動中の介護を総合的に援助します。

※同行援護では、視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行います。

※行動援護では、自己判断能力が制限されている人が行動するとき、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。

※重度障害者等包括支援では、常時介護を要する重度の肢体不自由者等が、その介護の必要の程度が著しい際に、日常生活上の介護等を総合的に行います。

## (2) 日中活動系サービス

日中活動系サービスは、障害者等の昼間の活動を支援するサービスで、種類は以下のとおりです。

### ①生活介護

平成27年度から利用者数・延べ日数ともに増加していますが、計画値を下回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
生活介護	人	180	168	190	170	200	175
	日	3,570	3,293	3,840	3,357	4,130	3,531

平成29年度は6月利用分

※生活介護では、常時介護を要する障害者等に対して、通所施設で入浴、排泄、家事援助、その他日常生活上の介護等のサービスを受けながら、各種創作活動や生産活動が行えるよう支援します。

### ②自立訓練

自立訓練（機能訓練）では、平成27年度に利用実績があるものの、以降の利用実績はありません。自立訓練（生活訓練）では、平成28年度以降、計画値は0でしたが退院後の障害者の利用実績があり、利用者数・延べ日数ともに横ばいとなっています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
自立訓練 (機能訓練)	人	0	1	0	0	0	0
	日	0	2	0	0	0	0
自立訓練 (生活訓練)	人	1	2	0	5	0	5
	日	19	46	0	91	0	96

平成29年度は6月利用分

※自立訓練（機能訓練）では、病院を退院又は特別支援学校を卒業した障害者等が、自立した日常生活又は社会生活ができるよう一定期間、身体機能の向上のために必要な訓練等を行います。

※自立訓練（生活訓練）では、病院を退院又は特別支援学校を卒業した障害者等が、自立した日常生活又は社会生活ができるよう一定期間、生活能力の向上のために必要な訓練等を行います。

### ③就労移行支援

新たな利用希望者が少なく、標準利用期間（原則２年間）が定められているサービスであり、標準利用期間内に他のサービス等に移行する利用者が多いため、利用者数・延べ日数ともに計画値を下回っており、平成２７年度以降減少しています。

（単位：１月あたりの利用者数、１月あたりの延べ日数）

区分		２７年度		２８年度		２９年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
就労移行支援	人	30	20	35	17	45	16
	日	540	390	630	307	810	289

平成２９年度は６月利用分

※就労移行支援では、一般就労等が可能と見込まれる障害者等に対し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援等を行います。

### ④就労継続支援

就労継続支援（Ａ型）では、平成２９年に市内で提供体制が整い増加していますが、計画値を下回っています。就労継続支援（Ｂ型）では、Ａ型と同様に平成２７年度以降、利用者数・延べ日数ともに増加しており、平成２９年度では計画値を上回っています。

（単位：１月あたりの利用者数、１月あたりの延べ日数）

区分		２７年度		２８年度		２９年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
就労継続支援 （Ａ型）	人	43	33	58	35	58	45
	日	850	691	1,160	693	1,160	877
就労継続支援 （Ｂ型）	人	78	61	78	75	78	79
	日	1,250	1,005	1,250	1,243	1,250	1,362

平成２９年度は６月利用分

※就労継続支援（Ａ型）では、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である人に対して行う雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の支援を行います。

※就労継続支援（Ｂ型）では、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である人に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の支援を行います。

## ⑤療養介護

利用者数、延べ日数ともに増加しており、計画値も上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
療養介護	人	7	8	7	10	7	10
	日	210	252	210	287	210	297

平成29年度は6月利用分

※療養介護では、医療を要する常時介護が必要な障害者等に対し、医療機関において、機能訓練、療養、看護、日常生活の介護等を行います。

## ⑥短期入所

短期入所（福祉型）では、計画値と実績値は概ね一致しています。また、短期入所（医療型）の利用実績はありません。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
短期入所 (福祉型)	人	66	63	68	65	70	66
	日	158	159	163	188	168	165
短期入所 (医療型)	人	0	0	0	0	0	0
	日	0	0	0	0	0	0

平成29年度は6月利用分

※短期入所（福祉型）では、常時介護者が病気等の場合、障害者支援施設等に短期間入所し、入浴、排泄及び食事の介護等を行います。

※短期入所（医療型）では、医療的ケアが必要な障害者等に対し、常時介護者が病気等の場合、医療機関に短期間入所し、入浴、排泄及び食事の介護等を行います。

### (3) 居住系サービス

居住系サービスは、入所施設で住まいの場を提供するサービスで、種類は以下のとおりです。

#### ①共同生活援助

利用者数・延べ日数ともに増加しており、利用者数は平成29年度に計画値を上回っています。延べ日数は、平成27年度以降計画値を上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
共同生活援助	人	31	30	33	33	35	37
	日	806	826	858	902	910	1,024

平成29年度は6月利用分

※共同生活援助では、夜間や休日にグループホームにおいて、相談や日常生活上の援助又は入浴、排泄、食事の介護等を行います。

#### ②施設入所支援

利用者数・延べ日数ともに横ばいで、計画値を上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
施設入所支援	人	36	36	35	36	34	36
	日	1,008	1,077	980	1,091	952	1,072

平成29年度は6月利用分

※施設入所支援では、在宅での生活が困難な障害者等に対し、障害者支援施設において、夜間や休日に、入浴、排泄、食事等の介護、生活等に関する相談助言及びその他の必要な日常生活上の支援を行います。

### ③宿泊型自立訓練

計画値としてあげていませんが利用実績があり、利用者数・延べ日数ともに横ばいとなっています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
宿泊型 自立訓練	人	—	5	—	4	—	4
	日	—	75	—	113	—	109

平成29年度は6月利用分

※宿泊型自立訓練では、知的障害者又は精神障害者に対し、居室その他の設備を利用させるとともに、家事等の日常生活能力を向上させるための支援、生活等に関する相談、助言及びその他の必要な支援を行います。

## (4) 相談支援

### ①計画相談支援

利用者数は増加しており、平成28年度以降、計画値を上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
計画相談支援	人	37	31	42	43	46	48

平成29年度は6月利用分

※計画相談支援では、障害福祉サービス等を利用するすべての障害者等に対し、相談支援専門員がサービスの利用のための支援や調整を行いサービス等利用計画を作成するとともに、サービス等の利用状況を検証し計画の見直しを行います。

### ②地域相談支援

利用実績はありません。

(単位：1月あたりの利用者数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
地域移行支援	人	1	0	1	0	2	0
地域定着支援	人	1	0	1	0	2	0

平成29年度は6月利用分

※地域移行支援では、障害者支援施設等に入所している又は医療機関に入院している障害者等に対し、住居の確保やその他の地域における生活に移行するための活動に関する相談等を行います。

※地域定着支援では、障害者支援施設等を退所、医療機関を退院又は家族等の同居から一人暮らしに移行した障害者等であって、地域生活が不安定な障害のある人等に対し、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談を行います。

## 4 障害児通所支援事業の提供状況

障害児通所支援は、障害児が身近な地域で適切な支援が受けられるようにするとともに、年齢や障害特性に応じた専門的な支援を提供するサービスで、種類は以下のとおりです。

### (1) 児童発達支援

児童発達支援は、利用者数・延べ日数ともに増加しており、利用者数は平成27年度から、延べ日数は平成28年度から計画値を上回っています。医療型児童発達支援は、利用がありません。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
児童発達支援	人	8	19	10	31	12	35
	日	120	94	150	162	180	224
医療型児童発達支援	人	0	0	0	0	0	0
	日	0	0	0	0	0	0

平成29年度は6月利用分

※児童発達支援では、未就学の障害児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行います。

※医療型児童発達支援では、医療的ケアが必要な肢体不自由児に対し、児童発達支援及び治療を行います。

### (2) 放課後等デイサービス

利用希望者増及び提供事業所増に伴い利用者数・延べ日数ともに増加しており、計画値を上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
放課後等デイサービス	人	46	72	53	89	60	115
	日	322	508	371	719	420	1,027

平成29年度は6月利用分

※放課後等デイサービスでは、就学中の障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練等の支援を行います。

### (3) 保育所等訪問支援

市内で提供体制が整ったため、利用者数・延べ日数ともに増加しており、計画値を上回っています。

(単位：1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
保育所等 訪問支援	人	1	19	1	33	1	44
	日	5	21	5	34	5	44

平成29年度は6月利用分

※保育所等訪問支援では、保育所等に通う障害児に対し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行います。

### (4) 障害児相談支援

利用者数は横ばいとなっており、計画値と同程度となっています。

(単位：1月あたりの利用者数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
障害児相談支援	人	8	12	10	13	12	12

平成29年度は6月利用分

※障害児相談支援では、障害児通所支援事業等を利用するすべての障害児に対し、相談支援専門員がサービスの利用のための支援や調整を行い障害児支援利用計画を作成するとともに、サービス等の利用状況を検証し計画の見直しを行います。

## 5 地域生活支援事業の提供状況

### (1) 相談支援事業

各事業ともに継続的に1か所（碧南市社会福祉協議会）に委託して実施しています。

（単位：か所数）

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
障害者相談 支援事業	か所	1	1	1	1	1	1
自立支援 協議会	か所	1	1	1	1	1	1
基幹相談支援 センター等 機能強化事業	か所	1	1	1	1	1	1
成年後見制度 法人後見 支援事業	か所	1	0	1	1	1	1

※障害者相談支援事業では、障害者等やその保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行います。

※地域自立支援協議会は、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うことを目的として設置しています。

※基幹相談支援センター等機能強化事業では、地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの事業が適切かつ円滑に実施されるよう、専門的知識を有する職員の配置などを実施します。

※成年後見制度法人後見支援事業では、成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保できる体制を整備するとともに、市民後見人の活用も含めた法人後見の活用を支援し、障害者の権利擁護を図るとともに、碧南市成年後見支援センターの運営を支援します。

## (2) コミュニケーション支援事業

手話通訳者設置事業については、利用者数に大きな変化は見られません。手話通訳者派遣事業及び要約筆記者派遣事業の利用実績はありません。

(単位：1月あたりの利用者数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
手話通訳者 設置事業	人	8	7	8	8	8	5
手話通訳者 派遣事業	人	2	0	2	0	2	0
要約筆記者 派遣事業	人	1	0	1	0	1	0

平成29年度は8月時点

※手話通訳者設置事業では、毎週金曜日14時から17時まで福祉課窓口到手話通訳者を設置し、市役所本庁舎内での手話通訳をします。

※手話通訳者派遣事業では、聴覚障害者で手話通訳が必要な場合、手話通訳者を派遣します。

※要約筆記者派遣事業では、聴覚障害者で要約筆記が必要な場合、要約筆記者を派遣します。

### (3) 日常生活用具給付等事業

利用件数に大きな変化は見られませんが、排泄管理支援用具の利用が非常に多い状況が続いています。

(単位：1年あたりの件数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
介護・訓練 支援用具	件	6	2	6	3	6	5
自立生活 支援用具	件	11	8	11	5	11	2
在宅療養等 支援用具	件	9	9	9	13	9	12
情報・意思 疎通支援用具	件	10	2	10	3	10	7
排泄管理 支援用具	件	1,932	2,080	1,932	1,870	1,932	1,872
居宅生活動作 補助用具 (住宅改修)	件	—	2	—	2	—	2

平成29年度は8月末までの実績から年間見込みを算出

- ※介護・訓練支援用具は、特殊寝台、特殊マットその他の障害者等の身体介護を支援する用具並びに障害児が訓練に用いるいす等です。
- ※自立生活支援用具は、入浴補助用具、聴覚障害者用屋内信号装置その他の障害者等の入浴、食事、移動等の自立生活を支援する用具です。
- ※在宅療養等支援用具は、電気式たん吸引器、盲人用体温計その他の障害者等の在宅療養等を支援する用具です。
- ※情報・意思疎通支援用具は、点字器、人工喉頭その他の障害者等の情報収集、情報伝達、意思疎通等を支援する用具です。
- ※排泄管理支援用具は、ストーマ装具その他の障害者等の排泄管理を支援する用具及び衛生用品です。
- ※居宅生活動作補助用具（住宅改修）は、障害者等の居宅生活動作等を円滑にする用具であって、設置に小規模な住宅改修を伴うものです。

#### (4) 移動支援事業

利用者数、延べ時間ともに平成28年度から平成29年度にかけて減少しています。

(単位：か所数、1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ時間)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
移動支援 事業	か所	11	12	11	13	11	13
	人	72	99	75	109	79	75
	時間	709	809	739	811	771	718

平成29年度は6月利用分

※移動支援事業では、屋外での移動が困難な障害者等に対し、社会生活上必要不可欠な外出及び社会参加活動等での外出を支援します。

#### (5) 地域活動支援センター事業

利用人数は、平成28年度以降計画値を上回っています。

(単位：か所数、1年あたりの利用者数、1年あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
地域活動 支援センター 事業	か所	1	1	1	1	1	1
	人	25	23	25	27	25	27
	日	200	191	200	193	200	193

平成29年度は6月利用分

※実施日数については、曜日の関係で変動します。

※地域活動支援センター事業では、障害者等の創作的活動や生産活動の機会の確保、社会との交流の促進等を支援します。具体的には、あおみJセンター（碧南高浜地域活動支援センター）を運営する法人に対し、補助を行います。

## (6) 訪問入浴サービス事業

実施か所、利用人数、延べ日数ともに減少傾向にあり、計画値を下回っています。

(単位：か所数、1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
訪問入浴サービス事業	か所	3	3	3	2	3	2
	人	10	9	10	9	10	7
	日	80	51	80	57	80	31

平成29年度は6月利用分

※訪問入浴サービス事業では、地域における身体障害者の生活を支援するため、訪問により入浴サービスを提供します。

## (7) 日中一時支援事業

実施か所は、増加傾向にありますが、利用人数及び延べ日数は横ばいとなっています。また、利用人数、延べ日数については計画値を下回っています。

(単位：か所数、1月あたりの利用者数、1月あたりの延べ日数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
日中一時支援事業	か所	11	12	12	14	13	14
	人	144	123	158	118	173	128
	日	361	253	395	235	432	241

平成29年度は6月利用分

※日中一時支援事業では、障害者支援施設などで障害者等に活動の場を提供し、見守りや社会適応のための訓練を実施します。

## (8) スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

継続的に1か所（碧南市社会福祉協議会）に委託して実施しています。

（単位：か所数）

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	か所	1	1	1	1	1	1

平成29年度は6月末時点

※スポーツ・レクリエーション教室開催等事業では、障害者スポーツの普及やスポーツ・レクリエーションを通じて、障害者等の社会参加の促進等を図るため、各種教室を開催します。

## (9) 文化芸術活動振興事業

継続的に1か所（碧南市社会福祉協議会）に委託して実施しています。

（単位：か所数）

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
文化芸術活動振興事業	か所	1	1	1	1	1	1

平成29年度は6月末時点

※文化芸術活動振興事業では、文化芸術活動を通じて、障害者等の社会参加の促進等を図るため、各種教室を開催します。

## (10) 声の広報発行事業

利用者数は、ほぼ計画値と一致しています。

(単位：1月あたりの利用者数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
声の広報発行事業	人	12	12	12	11	12	11

平成29年度は6月利用分

※声の広報発行事業では、文字による情報入手が困難な障害者に対し、広報へきなんをカセットテープに録音し、配布します。

## (11) 自動車改造費助成事業

利用者数は横ばいとなっており、計画値を下回っています。

(単位：件数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
自動車改造費助成事業	件	7	3	7	3	7	3

平成29年度は6月までの利用分

※自動車改造費助成事業では、身体障害者手帳所持者が、就労等に伴い、自ら所有し運転する自動車を改造する場合（本人運転の場合）や自ら運転できない障害者等のために自動車を改造する場合（介護運転の場合）に必要な経費の一部を補助します。

## (12) 自動車運転免許取得費助成事業

利用者数は横ばいとなっており、計画値を下回っています。

(単位：件数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
自動車運転免許 取得費助成事業	件	3	1	3	1	3	0

平成29年度は6月までの利用分

※自動車運転免許取得費助成事業では、身体障害者手帳所持者が、自動車教習所で技能を取得し、普通運転免許を取得した場合に必要な経費の一部を助成します。

## 6 その他の障害福祉サービスの提供状況

### (1) 自立支援医療給付事業

医療費を助成する制度として自立支援医療があります。

計画値は設定されていませんが、各医療費の申請件数は減少傾向となっています。

(単位：件数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
更生医療	件	—	191	—	189	—	174
育成医療	件	—	24	—	15	—	12
精神通院医療	件	—	1,022	—	805	—	1,037

平成29年度は8月時点までの実績から年間見込みを算出

※更生医療では、身体障害者手帳の原因となった疾病又は外傷の治療等に対して、医療費助成を実施します。

※育成医療では、生まれつきの障害の治療等に対して、医療費助成を実施します。

※精神通院医療では、精神的な病気の通院治療等に対して、医療費助成を実施します。

### (2) 補装具費給付事業

計画値は設定されていませんが、補装具費の支給件数は平成28年度以降横ばいとなっています。

(単位：件数)

区分		27年度		28年度		29年度	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
補装具費	件	—	96	—	89	—	89

平成29年度は8月時点までの実績から年間見込みを算出

※補装具費給付事業では、障害者等の身体機能を補うように製作された補装具の交付等に係る費用の一部を給付します。

## 7 ヒアリング・アンケート結果の概要

計画の策定にあたり、事業所（20事業所）、障害者団体（16団体）にヒアリング・アンケートを実施しました。

### （1）障害者団体

#### 意見のまとめ

##### ○障害のある人に対する周囲の理解について、問題点や課題

障害について関心を持ってもらい、理解してもらう必要があるとの意見が多くありました。具体的な方法として、学校での教育を通じて子どもへの啓発活動があげられました。

##### ○障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題

情報を把握し難いとの声が多く、分かりやすいパンフレットや個人に合った情報を分かりやすく伝えることなどの必要性があげられました。

##### ○障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題

放課後等デイサービスの長期休暇の利用増についての要望に対し、家庭での子育ての影響を危惧する声があげられました。また、サービスの提供について、個人個人の差に応じた支援や、スピーディーな支援の必要性があげられました。

##### ○障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題

障害者が仕事に慣れるまでのフォロー体制の整備、トイレや介助サービス、カフェスタイルの就労支援事業所など障害者が実際働いている姿を市民が目にする事が出来る環境などを求める声がありました。

##### ○障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題

相談支援専門員に対する評価は高くなっています。しかし、相談に繋がっていない方がいる現状や家族会の弱体化、保護者の高齢化など、様々な問題点があげられました。

##### ○碧南市で不足している障害福祉サービス

医療ケアを含む福祉サービス、学校卒業後の通所系サービス、親亡き後の居住系サービス及び就労支援事業などがあげられました。

##### ○障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題

サポートブックを活用した情報共有の必要性が多くあげられました。また、学校関係者の専門知識と技術の向上、合理的配慮などの必要性があげられ、障害児とその親への支援が課題となっています。

##### ○障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われること

障害に対する理解不足に関する意見が多くあげられました。障害者が作ったものを見てもらうことや障害の有無に関係なく一緒に活動する中で、障害に対する理解を深めてもらうことの必要性があげられました。

## (2) 事業所

### 意見のまとめ

#### ○障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題

多くの事業所が、「人材不足」を課題としてあげています。市内の事業所合同で、求職者向け説明会の実施を求める声があげられる一方、「自事業所に定着しないなら新規採用をしたくない」との消極的な意見もあげられました。また、家族の介護軽減の方法や親の高齢化に伴う支援の在り方の検討などの必要性もあげられました。

#### ○自事業所での新たな障害福祉サービスの実施予定や今後やっていきたいことなど

今後やっていきたい障害福祉サービスとしては、就労継続支援B型、グループホーム、放課後等デイサービス及び生活介護等が多くあげられました。実施していくにあたっては、人材確保及び人員配置を始めとした運営上の問題があげられました。

#### ○碧南市で不足している障害福祉サービスは何か

##### また、どうしたら不足している障害福祉サービスを実施する事業所が増えるか

土日や緊急時に利用できるサービスの不足、重症心身障害児へのサービス不足、グループホームなどの入居施設、日中一時支援などがあげられました。グループホームでは、公営住宅や空家などを転用できないかとの声があげられました。

#### ○障害のある方が就労するにあたって必要な支援

主な意見として、雇用者（会社）の障害者への理解、作業内容の工夫、相談窓口の設置があげられました。また、作業については単純作業でミスが出にくい工夫をするなど個人の特性に合わせて対応する必要があるといった意見もあげられました。

#### ○相談支援体制の強化に必要なこと

スキル・資格を持った人材確保の声があげられました。また、相談支援が必要だと思われる人に対し、定期的な家庭訪問を行うなど地域での途切れない体制づくりを求める声もあげられました。

#### ○事業所と地域との交流の有無及び地域との交流を行う際に必要なこと

一部の事業所では地域との交流がありますが、多くの事業所は地域との交流がないとの回答でした。その理由として、周囲からの目や個人情報の問題があげられ、それらを取り払うことが必要との回答がありました。

#### ○障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われること

地域の人が障害者への理解を深めること及び障害者側も地域活動等へ積極的に参加するなどし、相互に理解する必要があるとの意見があげられました。